

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・まちづくり事業をうつくし推進隊5団体に委託し、松林等の整備や環境学習、スタンプラリー等を通じて、広く県民へ「おおいたうつくし作戦」の浸透を図ることができた。
②	・幼児向け環境劇は、幼稚園等からの要望も多く、28公演で1,987人を対象に実施し、幼少期からの環境保全意識の醸成に効果的であるとの評価を受けている。 ・環境教育アドバイザーを96回(受講者数:3,486人)派遣し、地域や学校、職場などにおける環境教育の機会を提供することができた。
③	・うつくし感謝祭やSNSを活用した情報発信により、うつくし作戦のけん引役であるうつくし推進隊は203団体に増加した。 ・なかまづくり推進事業を5団体が活用し、地域住民を巻き込んでの清掃活動を行うなど活動基盤を強化することができた。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(2年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①②③	おおいたうつくし作戦推進事業	54.8	82
①	クリーンロード支援事業	95.7	120

【VI. 施策に対する意見・提言】

○おおいたうつくし推進隊からの意見(R3.2アンケート調査抜粋)
 ・今年度の活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画の大幅な見直しや中止とすることが多く、活動を縮小せざるを得なかった。うつくし推進隊の活動のWEB等を活用した情報発信をもっとしてほしい。また、活動への補助金の充実など資金面での支援をお願いしたい。

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
C	<ul style="list-style-type: none"> ・うつくし推進隊等が行う環境教育や環境保全活動などを積極的に支援し、点的に取り組みされてきた活動を面的に広げるとともに、うつくし感謝祭や各種キャンペーン活動を通じて「おおいたうつくし作戦」のさらなる浸透を図る。 ・プラスチックごみについての写真展の開催やSNSを活用したごみ拾いプロジェクトの実施等により、多くの県民が参加し、環境について考える機会を提供することで、環境意識の醸成を図り、日常生活における環境行動への転換を促進する。 ・幼児から高齢者まで幅広い世代を対象に、家庭をはじめ学校、地域、職場などあらゆる場面での環境教育を進めるため、環境教育アドバイザーを積極的に活用するとともに、特に、次世代を担う子どもを対象にした環境教育の充実を図る。